

中高交流学力向上事業7年目が始まりました

今春5月1日(木)飯山市教育委員会主催で「中高交流学力向上事業」の連絡会が開催されました。7年目を迎えた今年度も引き続き県教委の支援を受け、小中高を連携させながら、児童生徒の学力向上のためになお一層の取り組みをします。

活動は、小中高一貫のカリキュラムを研究開発し全体の学力を底上げすることを目指します。特に、これまでのつまずき調査から見えてきた重点ポイントである「割合・比・比例・関数」について、指導の研究実践を進めます。また、昨年度から新たに始めた「図形」に対するつまずきの研究も引き続き行います。ご支援ご協力よろしくお願いたします。

継続して小中高での授業交流を行い、連携を強化していきます

I C委員会事務局顧問・・・大池裕達(飯山北高校・飯山高校北キャンパス 数学科)

I C委員会事務局長・・・伊藤栄一(飯山北高校・飯山高校北キャンパス 数学科)

I C委員会事務局次長・・・中村公一(飯山北高校・飯山高校北キャンパス 数学科)

TTで城北中学校3年生2時間を担当

I C事務局員・・・善財宏昌(飯山市立城南中学校 数学科)

TTで飯山小学校6年生5時間

木島小学校・秋津小学校5年生を期間で分けて5時間

飯山高校北キャンパス1年生5時間を担当

齊藤淳一(飯山北高校・飯山高校北キャンパス 数学科)

近藤慎(飯山北高校・飯山高校北キャンパス 数学科)

TTで城南中学校3年生2時間を担当

本事業は平成20年度にスタートしました。本年度も城北中・城南中の両校とも、授業交流を行っていきます。また小中高の一貫したカリキュラムの研究のためにも、小学校との授業交流も行っています。

また飯山北高校が平成22年度からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受けてから5年目となります。本事業で培ってきたネットワークや教育実践はSSHにとっても本事業にとっても、相乗的に補強・補完されていくものと考えています。さらに「高校生チューター」等についても協力いただきながら、実践の成果をまとめていきたいと考えています。



【写真】左後から齊藤 近藤 善財
中村 大池 伊藤

「つまずき調査・学習意識調査」については、昨年度に引き続き岳北四市村すべての小6、中3、高2で実施していただき、調査の結果を分析・報告いたします。

本年度の活動予定です

(1) 研究活動と授業実践

①小学校・中学校・高校の授業をTT指導で行う中で、小中高それぞれの教科指導のあり方について課題を共有し、学力向上に向けて研究実践を行い、その様子をまとめる。

②小中高でそれぞれ行われる授業研究会や各種研究会に参加し、教師間の交流と情報の共有を図る。

(2) つまずき調査

①平成25年度11月の「つまずき調査・学習意識調査」のまとめと報告

②平成25年度「つまずき調査・学習意識調査」の報告会と公開授業の実施

7月10日(木) [飯山高校北キャンパス・城北中にて]

③平成26年度「つまずき調査・学習意識調査」の実施(5月調査(プレテスト)、11月調査(ポストテスト))

④同調査のまとめと報告(要約版作成 プレテスト結果(8月)、ポストテスト結果(1月))

⑤同調査の説明会の実施(1月 説明会には小学校5年生の担任、中学校・高校の教科担当の先生にお集まりいただいて実施する。)

⑥平成27年度「つまずき調査・学習意識調査」の問題検討

(3) 授業改善(各階層で正答率の低い問題(つまずき)の分析と、その指導方法・教材の開発、実践)

①各階層で正答率の低い問題(つまずき)の分析と、その克服のための指導方法・教材を開発、実践する。

②図形のつまずきに対して引き続き分析を行い、その指導方法について研究する。

(4) 高校生チューター 夏の陣(8月)、秋の陣(11月~12月)の実施

高校生が「高校生チューター」として中学校に出向き、中学生の学習の質問に答える等、学習の手助けをし、交流を深める。

(5) その他活動

①I C通信の発行・配布(随時)、自主教材の蓄積と公開を含めたホームページの運営(随時)

②平成26年度の事業報告と次年度の活動計画(3月)

多くの先生方のご参加を
お願いたします。